



平成19年6月5日

Vol. 32

発行所 加来不動産(有)
発行者 加来 寛
小倉南区守恒本町一十二
二十三、一〇一
(093)九六二一五八一
<http://www.kaku-f.co.jp/>

不動産なんでも相談

「今号は特別企画第二弾として、再度「地球温暖化」について話をさせて頂けたらと思います。今回、これを読まれて一人でも、そして今までの行動の中で少しでも変えられる習慣があり、それを覚えてくれる人がいれば嬉しいです。」

まずは南アメリカの先住民に伝わる物語の話をさせて頂こうと思います。

『森が燃えていました。森の生き物たちはわれ先にと逃げていきました。でもクリキンディという名のハチドリだけは、いったりきたり口ばしで水を運んで火の上に落としていきます。動物たちがそれを見て「そんなことをして一体何になるんだ」といつて笑っています。クリキンディはこう答えました。「私は、私にできることをしているだけ。』』

今からお伝えする話は、「みんなであちよと動けば」

変わるよ」を合言葉に、ギネスに挑戦するというもの。2007年6月22日夏至に4,900万部の号外が配られます。その夜、キャンドルの灯りで、号外を読みますか?という呼びかけをします。一回の号外で4,900万部配るといことがギネスへの挑戦にもなるらしいのです(地球を救うプロジェクト)。



次に私のところへ届いた記事の内容を、紹介させていただきます。

鈴木恭蔵、自己紹介!

宜しくお願いします!



皆さん、初めまして(^▽^)

この度、4月から加来不動産でお世話になっている、鈴木 恭蔵(すずき きょうぞう)と申します。まずは簡単に自己紹介をさせて頂きます。私は高校を卒業後、一時的に建築関係の道を目指勉強をしていましたが、物を造る仕事よりも、人と接していける仕事がしたい一念発起し不動産の世界に足を踏み入れることとなりました。最初は、福岡市で2年ほど賃貸の営業と管理の勉強をしていましたが、売買関係の仕事をしたいという強い思いがあった為、思い切って地元である北九州に帰ってきました。約1年ほど他社で売買の営業をしていた際に、加来社長と2度ほど一緒にお仕事させていただいたのをきっかけに社長に誘われ、加来不動産と一緒に働くことになりました。

私も今年の4月に結婚式を挙げたばかりで、8月には赤ちゃんが生まれる予定です。大好きな家族を養っていかなければならない身で、この時期に転職をすることに正直悩みましたが、家族、従業員、そしてお客様に「安心と笑顔と感動を伝えていきたい」という加来社長の言葉に自信と信念を強く感じ、その想いに引き寄せられるように私も社長のようになりたい、社長と一緒に仕事がしたいと思えたのが入社を決意した大きな理由です。仕事もまだまだ手付かずで、他の社員の方の足を引っ張ってばかりですが、毎日がとても充実しています。仕事を支えてくれている妻に感謝をしながら、これからも加来不動産と共に成長できるように、一生懸命頑張りますので、これからよろしく願いいたします。

地域イベント情報

「ナイトキャンドル」

☆百万人のキャンドルナイト
ト:「電気を消してスローな夜を」こんなスローガンと共に、2003年6月22日夏至の日。百万人のキャンドルナイトは始まったそうです。

・日にち:6月22日(金)
・時間:20時から22時の2時間です
・場所:皆様の自宅どこでも



この日は、キャンドルのほんやりした灯りで、「号外」を読んでもみませんか?「一人静かに」「友達と一緒に」「大切な人と」「家族と一緒に」。いつもと違った静かな落ち着いた時間を過ごすことができるのではないのでしょうか?そしてその会話の中で、少しでも地球に優しいことが何か出来ないか話しをしてみませんか?

「環境問題」後半

世界中の300人以上の科学者の人たちが集まって、スーパーコンピュータを使って、胸が苦しくなる未来の予想を発表したんだ。それはね、このまま人間が今と同じ生活を続けるならば、最悪、100年

後には、地球の温度が6・4度も上がり、人間はもちろんのこと、すべての生きものが死んじやうって・・・。100年先には、この星で生物は生きていけなくなるんだって。

インディアンの方が言ったんだ。「私達はなにかを決める時、七代先のことを考えて決める」。それって「すてき」でしょ。自分が死んだあとのことまで考えて今を生きたらいいかなって素敵な生きかたをしよう。



もしも今、みんなが気づいて、なんとかしようって動いたならば、2・4度上がるところで止められるだろうって。でも2・4度上がったときには珊瑚礁は全部、死んじやうし、動物や植物の三分の一の生き物が死んじやうんだ。人間は一千万人が水不足になるんだ。もしも、3・4度上がってしまったときには、大きい大きいアマゾンの森が全部枯れてしまっただけで、(裏面)

木は二酸化炭素を吸って、酸素を吐き出してくれる。そのお陰で僕は生きていくのに。北極の水だって300万年ぶりに全部溶けてしまうんだ。

もしも、4・4度上がったら、地球からは氷がなくなり、海面は70m高くなつて世界の食料はつきてしまうんだ。

この科学者たちの予想を『しっかり受け止める必要がある』でも、みんなに伝えるには、『受け入れる必要はない』ってこと。あきらめる必要はないんだ。なぜって？ 未来は決まっていなから。未来は今から変えられるから、未来は今から選べるから。



正直私も、現時点で行動していることはホントに小さなこと。例えば、割り箸はなるべく使わない(自分の箸を携帯する)、小さな商品、ちょっとした買物であればレジ袋は断る、妻と出かける買物にはマイバックを使用する、事務所・車内ではなるべくエアコンはつけない、使わない部屋の電気は小まめに消す、水は出しっぱなしにしない、などです。一つ一つは小さなことです。ですが、

これらの小さな行動でも一人ひとりが心がけて行動すれば、必ず変わってくると思います。冒頭で紹介させて頂いた、クリンケンのように。

何年か前に福岡・北九州も深刻な水不足になったことを覚えているでしょうか？ あれは一時的なものでしたが、ひよつとするとあの状態、もしくはあれよりももっと深刻な状態がずっと続いた場合どうでしょう？ インディアンのように七代先でないにしても、身近な子どもたち、お孫さんたちにどんな生活をして欲しいでしょうか？ 働いている環境が悪い、政治家が悪い、親が悪い、など言い出せばきりがありません。他人のせいにする限り永久に変わりません。私も不動産業界という業界に身を置きながら、今後5年、10年先には大きく業界全体の流れが大きく変わっているのではないかと考えています。ですが、まだまだ具体的な方向性は見出せずにいます。

ただ、まずは今すぐに取り組めること。ここから始めたいと思います。いつまでも安心して生活できる環境になることを切に願っています。最後までお付き合いいただき、感謝です！

先月グッときた本の紹介

『バカの壁』



養老 孟司著 新潮新書

『バカの壁』というのは、ある種、一元論に起因するという面があるわけ。バカにとっては、壁の内側だけが世界で、向こう側が見えない。向こう側が存在しているということすら分かっていなかったりする。(一元論とは、ある一つの原理で、あらゆるものを説明しようとする考え方だそうです)』 ~本文より抜粋~

これを読んでみて思ったのは、お客様と何かしらの話しをするときに、不動産の常識、自分の常識、世間一般の常識を前提に話しをするわけですが、やはり十人十色。色んな方がいらっしゃいます。大抵の人は話の内容を理解していただけますが、たまに話が通用しない人もいます。そのとき私は、「何故この人は、私の言っていることが分からないんだ！」「普通に考えれば分かるだろ！」と思ってしまうことがあります。よくよく考えてみると、一般常識というものは、ある意見に賛否があって賛成する人が大多数で、それ以外の人を「非常識」としていることなのかもしれないな、と思いました。かのガリレオも当時は非常識だ、変人だと呼ばれていましたが、今となってはガリレオの考え方は常識です。色んな人がいて、色んな考えがあるのは当たり前です。まずは相手との会話をする時点で、自分の固定概念(=ここあるべきだ!)という思いは避け、相手の主張を一旦は受け入れる心のゆとりを持ちたいものです。

感動日記

【加来寛の感動体験】

今年のゴールデンウィークは、息子がまだ小さいということもあり、遠出することはありませんでした。が、最終日の6日は、家族から休みを頂きました(笑)その休みを利用して、一人で映画館に足を運び、また本場に久しぶりにサーフィンもすることができ、その夜には旧友たちと酒盛りまで楽しめました♪心から充実した休みを過ごすことができ、また妻と息子に、本当に感謝しました。次は妻に休みを取ってもらえるように、私も頑張ります！



【飯本美智子よりご挨拶】

【吉田初美の感動体験】五月の連休に鹿児島へ行ってきました。今回で二度目となる鹿児島旅行の一番の目的は、一度目に行った時に天気が悪く、全く見ることが出来なかった「桜島を見ること」でした。一日目は霧島に立ち寄り、自然の中で温泉に浸かりゆつくりしました。二日目は鹿児島市内に移動し、高台にある城山展望台から桜島を眺めに向かいました。お天気も良かったので無事に「桜島」を見ることが出来ました。雄大な景色は素晴らしく、念願が叶って感動の旅でした！

【井科隆彦の感動体験】ゴールデンウィークに妻と二人で、3泊4日の韓国旅行に行ってきました！妻が韓国で働いていた間、お世話になった人や仲良くなった生徒さんたちたくさんお会いしてきました。私も以前行った際にお会いした方ばかりでしたので、とても懐かしかったです。お世話になった方にお会いしに行く旅でもありましたが、韓国はなんとと言ってもほんがとてもおいしいです！私は辛いものが結構好きなので、食が進んで進んで。出発前と帰国後の体重差には驚きました…。

実はこの度、加来不動産を急遽退社することになりました。五月の連休前に体調を崩してしまい、残念ですが退社を決定しました。段々と不動産の仕事にも慣れてきて、社長と一緒に家主様の所へ行って、顔も覚えて頂けてきた失先のことだったので、本当に残念です。短い間でしたが、私に良くしてくれたお客様、そして会社のみなさんには申し訳ない気持ちでいっぱい입니다。皆様も良い経験ができたと思っています。本当にありがとうございました。